

## 第五回ジャミ会

平成25年4月20日

於 日吉ファカルティ・ラウンジ

### <第一回ジャミ賞 (三名) >

古田英之さん

吉川琢磨さん

神吉創二さん

### <第一回イグ・ジャミ賞 (一名) >

橋本 武さん

### <式次第> (敬称略)

17:00 受付開始

17:30 ジャミ会開始 (司会：永野好士)、食事サーブ開始

初参加の方の自己紹介 中村 健 (1980年卒)

高木利彦 (1985年卒)

乾杯 中村 健 (1980年卒)

17:45~17:55 ジャミ賞受賞者の紹介、表彰式、写真撮影

### <第一回ジャミ賞 (三名) >

古田英之 (1980年卒)

吉川琢磨 (1985年卒)

神吉創二 (1988年卒)

17:55~18:55 ジャミ賞受賞者3名のスピーチ (20分×3名)

18:55~19:05 自由歓談

19:05~19:10 イグ・ジャミ賞受賞者の紹介

### <第一回イグ・ジャミ賞 (一名) >

橋本 武 (1988年卒)

19:10~19:30 イグ・ジャミ賞受賞者のスピーチ (20分)

19:30 参加者1分間スピーチ

19:45 余興 ジャミ会の歌 (ジャミラ、芦沢國正)

19:55 ジャミラ話

20:15 次年度会幹事の紹介 (小峰直人、石橋勲明、原 歩)

20:20 閉会の辞 (高橋須賀子さん)

写真・ビデオ撮影 関口 淳

<受賞理由>

第一回ジャミ賞 古田英之さん (1980年卒)

賞の名前：世界を股にかけ、変身しながら華麗に飛び回る《鳶職人》賞

受賞理由：塾高から経済学部卒ながら、仕事の実態はまるで“飛び職”。目を回すことなく、会社から会社、部署から部署、大学、学会へと華麗に渡り飛び、さらには執筆、講演、レクチャーまで見事にこなし、神出鬼没の大活躍ぶり。二足の草鞋どころか何足の草鞋と言うべきか。“鳶職”ならぬ“飛び職”として、その経歴はジャミ賞の名に値する。

第一回ジャミ賞 吉川琢磨さん (1985年卒)

賞の名前：“耳目を集める耳より絵画とプレイスペース・絵本付き待合室のある、おしどりクリニック”賞

受賞理由：まわりと横並びではなく、自分のやりたい事をする独立自尊の精神を発揮し、従来の耳鼻科医の枠にはまらない、父親の時代とは異なる耳鼻科医をめざす。その上、専門分野以外にスキーの腕前、チャリコ練習、グランフォンド軽井沢・乗鞍ヒルクライム・糸魚川グランフォンドへの超人的参加と日本酒の唼き酒師・ソムリエ取得は見事なものであり、ジャミ賞の名に値する。

第一回ジャミ賞 神吉創二さん (1988年卒)

賞の名前：テニスで仕事を《手ニス》賞

受賞理由：小学校時代の夢である「幼稚園の先生になること」が、幼稚園テニス部合宿コーチの活動を通して自らの天職・聖職 (Beruf) と確信し、幼稚園の教師となるべく凄まじい執念と地道な努力は驚くべきものであり、ジャミ賞の名に値する。

第一回イグ・ジャミ賞 橋本 武さん (1988年卒)

賞の名前：本人も認める“常軌を逸した”天文学的コンサート通い数、まさしく光輝く非真面目社員ここにありのピッカピカshine賞

受賞理由：真面目ではなく、さりとして不真面目でもなく、非真面目ともいうべき勤務態度こそは、まさにイグ・ジャミ賞に値するものであり、長年にわたる“逆らわず、従わず”精神あつての長年の努力の賜物であろう。真面目会社人間には逆立ちしても達成しえない、非真面目人間だけが為し得る前人未到の金字塔である。

♪ ウルトラマンの歌 ♪ (原曲)

東京一作詞 宮内国郎作曲

胸につけてる マークは流星  
自慢のジェットで 敵をうつ  
光の国から僕らのために  
来たぞ 我等のウルトラマン

♪ ジャミ会の歌 ♪ (替え歌)

胸につけてる マークはジャミラ  
自慢の笑いで 敵をうつ  
宇宙のはてから僕らのために  
来たぞ 我等の怪獣ジャミラ